

「今後の香川県立特別支援学校の在り方検討委員会」の設置について

1 委員会設置の趣旨

児童生徒数の変化や社会・産業構造の変化、教員志望者の減少など、県立特別支援学校を取り巻く環境が大きく変化する中、県立特別支援学校が各障害種の専門的教育機関としての機能を果たすとともに、地域の特別支援教育のセンターとして小・中学校等の特別支援教育を支えていくためには、県立特別支援学校の在り方を再構築したうえで、教育内容や教育環境の一層の充実を図る必要があります。

このため、令和8年度から令和9年度にかけて、標記の検討委員会を設置し、中長期的な視点のもと、これからの時代に県立特別支援学校が果たすべき役割や在り方について議論し、そのうえで、今後の方向性や具体的な方策、整備すべき施設等について検討してまいります。

2 委員構成

学識経験者や保護者、教育関係者など14名(現在検討中)

3 主な検討事項

- (1) 香川県立特別支援学校の現状把握と課題の整理に関すること
- (2) 視覚支援学校、聴覚支援学校及び知的障害特別支援学校の今後の在り方に関すること
- (3) キャリア教育、職業教育の充実に関すること
- (4) 就学前の幼児への支援を含むセンター的機能の充実に関すること
- (5) 医療的ケア及びICT等の新たな専門性への対応に関すること